

次世代グリーン CO₂燃料技術研究組合に 糖化酵素「CRESCENTIS™」*1 の供給を開始

花王は、次世代グリーン CO₂ 燃料技術研究組合（研究組合）と 23 年に締結した「バイオエタノール生産研究設備における糖化酵素使用に関する合意書」*2 に基づき、竣工した研究組合の設備*3 へ糖化酵素の供給を開始しました。

*1 <https://chemical.kao.com/jp/bio/crescentis/>

*2 <https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2023/20230602-001>

*3 <https://rabit.or.jp/news/113/>

■研究組合のバイオエタノール生産設備での花王の糖化酵素の利用

研究組合は、福島県大熊町の生産研究設備において、非可食の植物を原料としたバイオエタノールの研究を行います。バイオエタノールは、①バイオマスに前処理を行い、②バイオマスを糖化酵素で糖に分解、③糖を酵母菌で発酵させてエタノール発酵液を製造、④エタノール発酵液を蒸留・精製することで製造されます（図1）。

花王が独自に開発した糖化酵素は②のバイオマスを糖に分解するための工程で使用されます。

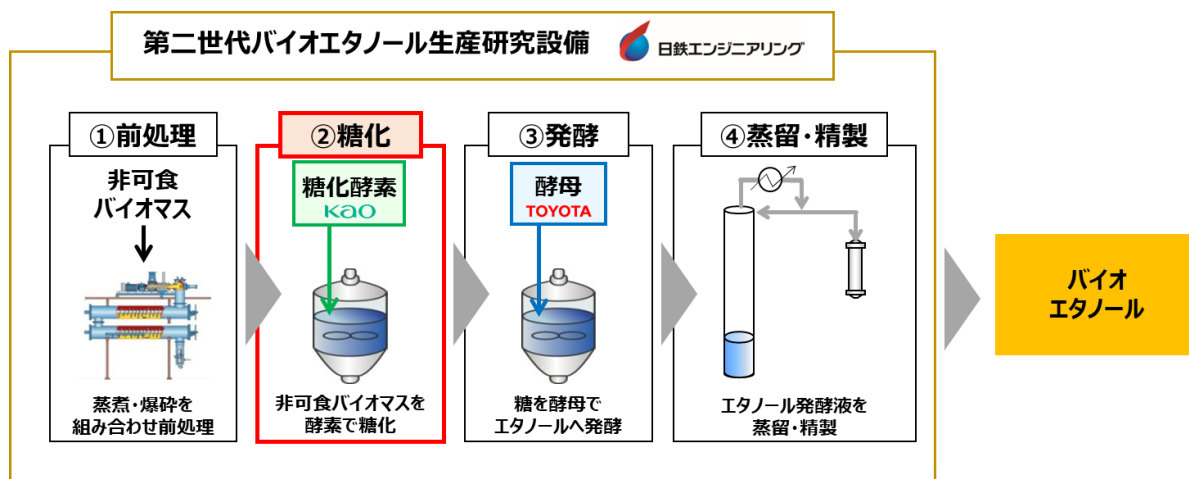


図1. バイオマスからエタノールを製造するプロセス

■まとめ

花王は、独自酵素の開発やその製造方法についての研究開発を行い、その成果を自社製品に応用してきました。昨今のバイオマス利用の広がりにより、高性能な糖化酵素へのニーズが高まっています。花王ケミカル事業は、未来の「人・社会・地球のきれい」を、科学の力で実現するために、糖化酵素を国

内外の顧客要望に応える形で提供していきます。廃棄物や未利用資源をバイオ原料に変換する花王独自の糖化酵素の技術で、低炭素、持続可能な社会の実現を目指します。

<お問い合わせ>

花王株式会社 ケミカル事業部門お問い合わせ窓口 (<https://kaochem.my.site.com/inquiry/s/>)